

別紙 <COOL MIE トークライブ 出演者プロフィール>

●川渕皓平さん (canaarea 代表/津市在住)

暗闇に灯す、ひとつのあかり

こころにともる、優しいなにか

朽ちてゆく竹林の竹を切り出し、美しい竹あかりとして、再び命を吹き込む

目にするすべての人の心に優しいなにかが灯るよう 唯一無二の竹あかりを生み出し続ける。

1985年3月、奈良に生まれる。

2007年、熊本のちかけんメンバーとして竹あかりの創作活動始める。

2013年、三重で「canaarea」を立ち上げ、東海地方をメインに、祭りや音楽フェスなどの会場演出を手がける。

TOYOTA ROCK FESTIVAL,中津川 SOLAR BUDOKAN,森、道、市場,Love Save the Dream,橋の下世界音楽祭,宙音～sora oto～,などの音楽フェスでのデコレーションや、伊勢志摩サミットおもてなし竹あかり制作指導、三重レインボーフェスタの会場演出、名古屋市有松ミチアカリの総合演出、店舗や自宅用のオーダーランプの制作など、たくさんの場所へ竹のあかりを届けている。

●三城賢士さん (CHIKAKEN 代表/チーム熊本 代表理事)

2007年4月、池田親生(ちか)と三城賢士(けん)が、共に崇城大学の内丸恵一研究室で学んだ「まつり型まちづくり」をベースに、「竹あかり」の演出制作・プロデュース集団「CHIKAKEN(ちかけん)」を設立。熊本を拠点に全国各地で「竹あかり」を灯し、その土地にしかない“風景”と“物語”を創りつづけてきている。「人と人・人とまち・人と自然」を繋ぐ「竹あかり」が新たな日本の文化として受け継がれることを目指す。2016年5月に行われた伊勢志摩サミット配偶者プログラムの夕食会場の演出も手がける。熊本地震後、一般社団法人チーム熊本を設立。被災した市民とともに、生活支援や産業支援の活動を行っている。

●生駒芳子さん (ファッションジャーナリスト)

兵庫県宝塚市生まれ。東京外国語大学フランス語科卒業。

VOGUE、ELLEでの副編集長を経て、2004年よりマリ・クレール日本版・編集長に就任。社会派の記事を取り込んだ日本で初めてのファッション誌として、話題を呼ぶ。

2008年11月独立。日本の伝統工芸を世界発進するプロジェクト「工芸ルネッサンス WAO」の総合プロデューサーを務め、パリ、ニューヨーク、東京で、ファッションやデザイン、アートを切り口としたキュレーションで紹介している。